

# 《歴史文化の山里越える小富士山コース》





# 歴史文化の里山越える小富士山コース

もりしたうそん

## ① 森下雨村の碑

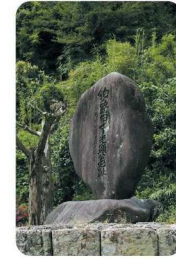
1890年－1965年編集者・小説家。上郷に生まれる。上京後、博文館に入り、大正9年「新青年」の創刊に携わる。海外探偵小説を翻訳紹介するとともに、編集者として江戸川乱歩、横溝正史など多くの小説家を世に送り出した。「探偵小説の生みの親」と称される。



たなかみつあき

## ② 田中光顕生家跡と公園

1843年－1939年政治家。深尾家家臣浜田金治の息子として生まれ、維新时期土佐勤王党に入党。元治元年(1864)同土等と脱藩し、以後長州を頼り志士活動に奔走した。維新後、新政府に出仕し陸軍少将、初代内閣書記官長、警視總監、学習院院長などの要職を歴任。明治31年(1898)には宮内大臣に就任し、以後12年間務めた。政界引退後は、維新烈士の顕彰に尽力し、志士たちの遺墨・遺品を多く収集するなどした。青山文庫(表ウォーキングマップ参照)には光顕伯の寄贈による多くの歴史的資料が収蔵されている。



こふじやま

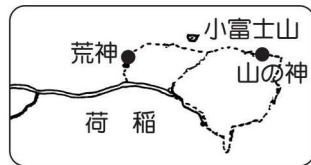
## ③ 小富士山

山の形が富士山に似ていることにちなんで名付けられたと言われている。204メートルの山頂には石鎚神社がまつられている他、展望所もあり、佐川町の半分が見渡せる絶景ポイントともなっている。また、ツツブキや枝垂桜など多くの季節の草花を楽しむことができる地元の人々の愛する山である。



### ～ 山の神様 ～

山の神の場所は小富士山の東側斜面にある。地元ではこの付近一帯を天神谷と呼び、山の神のあるところの小字名は「山の神」である。旧暦の1月20日と同9月28日には、小富士山の登山道を少し上ったところにある荒神様と一緒に祭りが行われる。



## ④ 諏訪神社

元禄3年(1690)に建立され、荷稻地区の氏神様としてお祭りされている。「タケミナカタノカミ」という「戦い」「猟」に関する女性の神様が祭られており。その昔、佐川の領主「深尾の殿様」が戦にいく前にここに立ち寄ってお参りをしたと言われている。



### ～ 佐川の大楠 ～

《 佐川の大楠 高さ：39m 周囲：13m 》

諏訪神社内に1180年(治承・寿永、源平合戦の時代)、樹齢800有余年の大楠があり、高知県の天然記念物に指定されている。

いとうらんりん

## ⑤ 伊藤蘭林塾

1814年－1895年 儒学者。深尾家家臣伊藤徳正の子として上郷に生まれる。名教館で学び長じて教授となり、多くの深尾家臣子弟を訓育したことから、田中光顕以下、佐川郷内から輩出した志士は皆蘭林門下である。



ウォーキングマップに関するお問い合わせはこちら

佐川町ウォーキングで健康の輪をひろげよう事務局

TEL：0889-22-7709 (佐川町健康福祉課内)